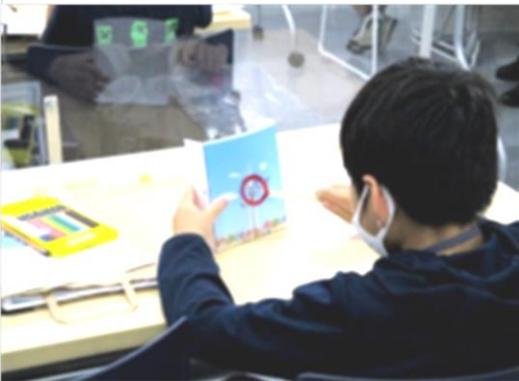


# 2021 教室・講座・イベントの成果報告

主催者名	はまぎん こども宇宙科学館・洋光台サイエンスクラブ「環境体験教室」		
題名・副題	なぜ目は2つもあるの？ジオラマ(立体模型)を作って確かめよう ～立体視を実験して動物の暮らしを考えてみよう～		
月日・時間	6月19日(土)10:00～12:00		
開催場所	はまぎん こども宇宙科学館 1階・会議室		
部会・講師名	自然環境部会 武澤研二	参加数	16名
		講師数	6名
写真・画像			
	赤青メガネで絵が飛び出す体験	片目を閉じるとスカイツリーが逃げる	
			
	パーツを選んでジオラマ作り	手に穴が開くマジックを体験	
成果解説	<p>立体視や視野など2つの目の働きを自分の体を使った体感実験により実感し、動物は2つの目の働きで行動すること、そのような生きものつながりが多様な生態系を支えていることに気づくことがこの教室の狙いです。</p> <p>「目は2つだけじゃない」、動物の目の数のクイズ、動物を棲むところ、食べ物、運動機能で分類する「動物なかま分け」ゲームで動物には多彩な暮らし(生態)があることを楽しく学びました。片目を閉じると輪の中のスカイツリーの絵がずれる、赤青メガネで赤青画アナグリフが3Dに見える、体験実験で左右視差と立体視を自分の体で確かめました。手に持った輪がどこまで見えるか、両眼と片眼の見える範囲「視野」を測る実験を行い、また、両眼と片眼の視野は捕食者と被食者と異なることも学びました。紙製のジオラマを工作し両眼と左右の片眼で見て比べることで両眼視の補完効果を確認しました。自由にパーツを置いてオリジナルのジオラマを楽しく作りました。紙筒を片目に当て遠景を見つめてもう一方の目を掌で覆うと「手に穴が開く」マジックで錯視の不思議を体験しました。2つの目の働き、①距離が分る、②より広い視野を得る、③隠匿されたものが見える、を解説しました。授業のアンケートではほとんどの受講児童から「楽しかった」との感想を得ました。科学館の新型コロナウイルス感染症予防対策を配慮しての授業でした。</p>		